

星城大学大学院開設 及び 新4号館竣工記念披露式典

時:平成20年5月30日 於:星城大学4号館にて



高い評価を得る大学として 成長していきたい

学長 林 哲介

「健康生活保持を支援する」ための 指導的な人材を育てる

健康支援学研究科長 植松光俊



式典では、林哲介学長より「高齢者や障がい者の病気治療のみならず、いかにして健康な生活を支えていく技法を学び、かつ実践的な人材の育成を目指すことが重要課題として、設置された大学院です。経営学部の医療マネジメントコースとスポーツマネジメントコース、リハビリテーション学部の理学療法、作業療法分野を基礎に大学での学問を発展的に研究できます。」との紹介があり、また星城大学のキャンパス整備として地下1階地上5階建ての4号館の竣工と、体育館の増床、テニスコート張り替え、グラウンド人工芝化、グラウンドの改修工事による教育施設の整備、新たに名古屋・伏見に大学院のサテライトキャンパスを開設した報告など、「高い評価を得る大学として成長していきたい」との挨拶がありました。

また、植松光俊大学院研究科長より『『健康支援学研究科』で、『健康生活の保持の支援が必要な人々』、『加齢によって虚弱になることが予測され、予防する必要がある中高齢者』、『障がい者(児)』を対象に健康生活が保持できるよう支援し、『健康寿命』を伸ばす観点での指導者の育成を行っていく』との講演がありました。



星城大学大学院開設 新4号館竣工披露祝賀会



昭和16年石田 鑑徳先生が自らの体験をもとに「報謝の至誠」「文化の創造」「世界観の確立」を建学の精神として私塾「明德学館」「名古屋英学塾」「星城高等学校」「星の城幼稚園」等を設立されました。残念ながら昭和51年に他界されました。

今年はその伝統を引き継ぎ創立67年目を迎えています。創立者の遺志から大学法人を目指し、平成元年名古屋明德短期大学、そして創立60周年、21世紀を機会に社会貢献を目途に4年制の星城大学を設立し、経営学部・リハビリテーション学部を設けました。

今般、更にこの両学部の高揚を目指し、大学院「健康支援学研究科」を設立し特色ある学問の追求をしてまいる所存です。

平成元年短大設置時にこの東海市のご協力をいただいて20年、今ここに星城大学の基盤ができてまいりました。市長を始めとする地元の皆様、ご来賓の皆様のご協力があつての賜物です。心から感謝を申し上げます。今後ますますのご支援をお願い申し上げ、御礼のご挨拶といたします。



学生食堂

2F

暖色系のあたたかい壁の仕上がりと、天井・テーブル・イスの白を基調とした清潔感あふれる空間となっています。



4301教室

3F

収容人数450名の大講義室は、スクリーン画面を3箇所設けることで奥行きを狭く、講義に集中しやすい横広の教室となっています。

地下 トレーニングルーム

柔道場、剣道場、トレーニングルームの機能を合わせ持った複合施設となっています。

謝辞

理事長 石田 正城

本日は、大安ということで平日のご多忙な日時に祝賀会を催しましたところ、多数のご来賓のご臨席を賜り、感謝を申し上げます。

団塊の世代の人には石田学園、名英という学園名は馴染み深い方が多いのですが、時代も変わりましたので少々、学園の歴史について述べさせていただきます。

校門を入ったところに創立者の銅像がございますが、



エントランスホール

1F

高い天井と、大きな窓により、明るく開放的な空間を創る玄関ホールです。



5・6F 図書館

最上階は、下界の騒音とは切り離され、静寂な空間を創り出しており、書架配列は大変機能的なものとなっています。閲覧スペースもガラス空間で包まれた明るい個室から個人スペースまで多機能な用途になっています。

